

学習指導要領の趣旨を実現するための 学習・指導方法及び評価方法の工夫改善 に関する実践研究



文部科学省



NIEP

令和2年度 国立教育政策研究所 教育課程研究指定校事業

令和3年2月3日(水)

研究協議会



国立教育政策研究所

指定校事業に期待されること

- ◎ **学習指導要領の趣旨を実現するための
学習・指導方法及び評価方法の工夫改善**
(実践研究を行う)

その成果を全国に普及し、
各学校での指導改善の参考に



小学校社会科として

下記の内容に関わる教材開発等と評価の在り方の研究

○(ア)～(エ)のいずれか一つ又は複数

(ア)第3学年の内容（地域の歴史）に関わって、

教材開発，資料作成，学習展開等を含めた小単元計画を研究する。

(イ)第4学年の内容（地域の災害）に関わって、

教材開発，資料作成，学習展開等を含めた小単元計画を研究する。

(ウ)第5学年の内容（産業の情報化に関わる内容）に関わって、

教材開発，資料作成，学習展開等を含めた小単元計画を研究する。

(エ)第6学年の内容（日本国憲法と政治やくらし）に関わって、

教材開発，資料作成，学習展開等を含めた小単元計画を研究したり、

歴史学習において、当時の世界との関わりに目を向け、我が国の歴史

を広い視野から捉えるための資料提示の工夫を研究したりする。



新宿区立四谷小学校の 2年間の研究成果を共有する



学習指導要領の内容を分析する

新宿区立四谷小学校

“フレームワーク”

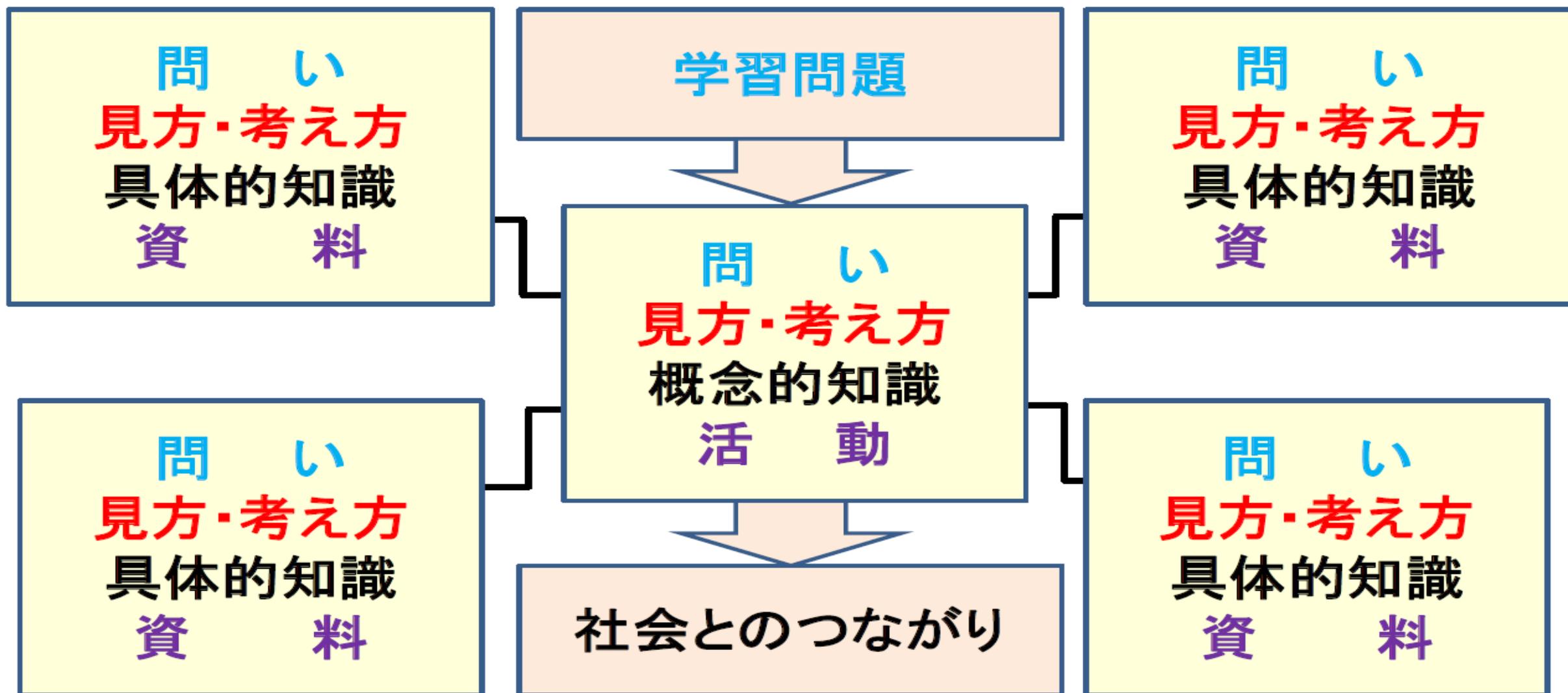


教材開発・教材研究、内容の分析は、
学習指導要領を踏まえ、
単元構成をイメージしながら行うことが大切である

教材開発の工夫

指導内容の構造

★知識、見方・考え方、問い、資料から指導内容を分析する

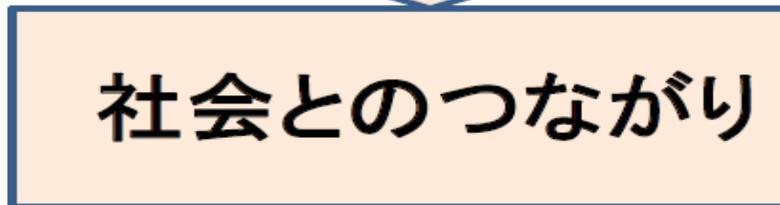
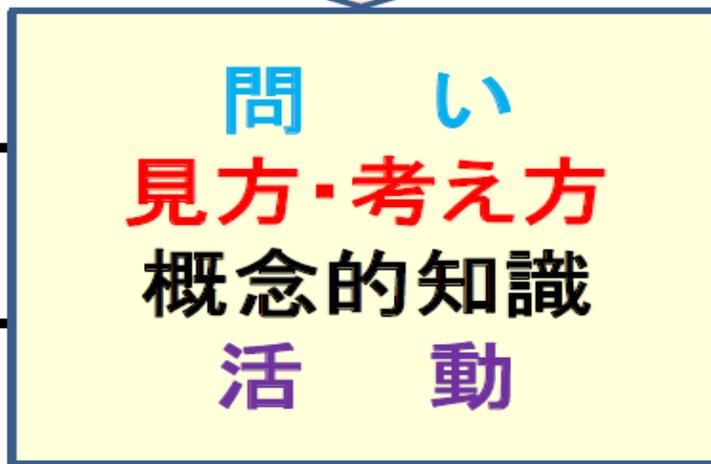
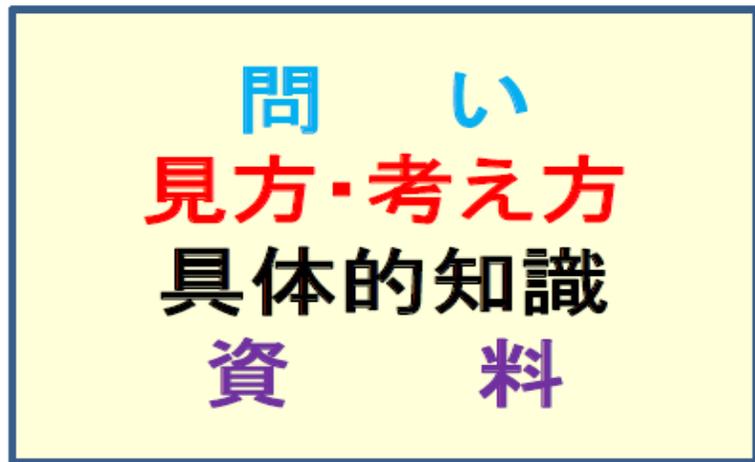


教材開発の工夫

指導内容の構造

★知識、見方・考え方、問い、資料から推

内容分析を単元構成へ



<学習問題>
丸正本店にたくさんの人が買い物に来るひみつは何だろう？

問い：丸正本店には、なぜたくさんのお客が集まるのだろうか？
種類ごとに分けて考えてみよう！
活動：見学や調査で分かったことをカード化して分類・整理する。【分類】
問い：お店の人の工夫は買い物客の願いとどうつながっているのだろうか。
活動：買い物客の願いと分類・整理した工夫を線でつなげる。【関連付け】
知識：丸正本店では、売り上げを高めるために、買い物に来る人の多様な願いに応える工夫をしている。
問い：丸正本店以外のスーパーではどのような工夫をしているのだろうか？
【比較】
知識：売り方を工夫したり、チラシや広告を出してお客を呼び込もうしたりするのは同じだけど、どの店もそのお店に来るお客の願いに合わせた特色ある売り方の工夫をして売り上げを高めようとしている。
資料：見学カード お店の写真 個々の工夫を整理した比較表

例えば

問い：丸正本店の商品はどこから来ているのだろうか？
【他地域や外国との関わり】
知識：丸正本店では、東京以外の県や外国からも様々な商品を仕入れて販売している。
資料：段ボール等の表示の写真 仕入れ先の日本・世界地図

単元構成と問い

新宿区立四谷小学校

“問いの構造”



社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題解決的な学習を行うためには、問いが極めて重要である。学習問題の質や学習問題と各時間の問いとの関係など、単元を通した問いのデザインが大切である。

教材開発の工夫

第3学年「地域の販売の仕事」 問いの構造

学習問題を把握する問い	私たちは、どこでどのような物を買っているのだろう。 【消費者の願いに着目】【商店の分布に着目】
単元の学習問題	丸正本店にたくさんの人が買い物に来るひみつは何だろう？
 事実を追究し捉える問い	丸正本店ではどのような売り方をしているのだろう。【販売の仕方に着目】 丸正本店ではたくさんの人に来てもらうためにどのようなことをしているのだろう。 【集客の仕方に着目】 丸正本店の商品はどこから来ているのだろう。【他地域や外国との関わりに着目】
特色や意味を考える問い	丸正本店には、なぜたくさんのお客さんが集まるのだろう。種類ごとに分けて考えてみよう！ 【分類して考える】 店の人の工夫は買い物客の願いとどうつながっているのだろう。【関連付けて考える】 丸正本店以外のスーパーはどのような工夫をしているのだろうか。【比較して考える】
社会との関わりを考える問い	お店のよさを買い物する人にどう伝えるとよいのだろう。【総合して考える】 私たちはどのように買い物をしていくとよいのだろう。【生活と関連付けて考える】



新学習指導要領では

一人一人の子供に，これからの時代に求められる**資質・能力を育成**

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進

深い学びの鍵としての
「見方・考え方」を働かせることが重要

「見方・考え方」を働かせる
「問い」の設定が不可欠

「社会的な見方・考え方」を用いた考察，構想や，説明，議論等の学習活動が組み込まれた，課題を追究したり解決したりする活動が不可欠である。



単元全体で問いをデザインする

単元の目標

問い・資料・活動

重要な仕掛け

学習問題（単元の問題）

★子供の見通し

問い ← 見方・考え方

学習問題と問いの関係性

学習問題と問いはつながっている？
十分な問いの吟味が必要

見通しは問いに結びついているか
★学習問題に対する予想→見通し
を具体的に描けているか
指導計画にきちんと書けるか？

どうしてこの問いが並ぶのか？
この問いを解決すると学習問題の解決に
つながるのか？
子供たちの予想や見通しから、
本当にこの問いが生まれたのか？
※問題解決的な学習過程になっているのか？

どうしてこの問いが必要なのか？



子供の問いだけでは目標の実現に届かない場合は、教師の出番！

対話的な学びの視点から

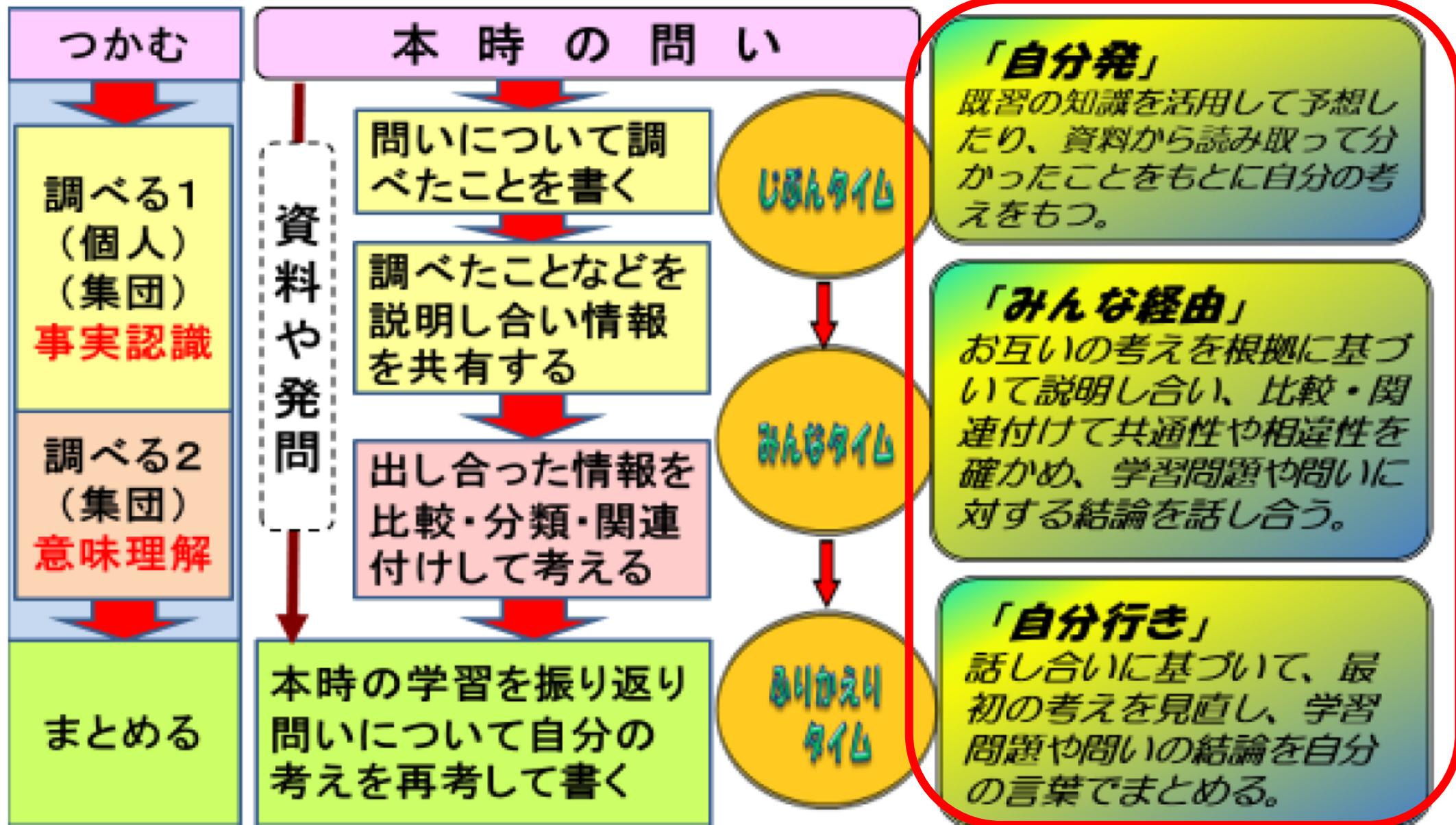
新宿区立四谷小学校

“協働的な学習の工夫”

対話的な学びの視点から、学習活動が形だけ、教師の都合だけのものではない。子供たちが自分の考えを広げたり深めたりできる学習活動を設定する必要がある。

協働的な学習の工夫

協働的な学習活動を位置付けた1時間の授業構成





「子どもたちの対話を促し、考えを広げ深めていくために、小グループで使うホワイトボードとは別に個人もちのミニホワイトボードを活用しています。ホワイトボードは、A4程度の大きさのもの、ペンは赤・青・黒の3色を一人一セット机の横にかけています。」

【100円ショップで購入したホワイトボードとペン】



①個人思考

「問い」に対する自分の考えを黒ペンで中央に書く。



②小グループでの思考



「なるほど」と思ったこと、自分にはない考え、理由があればその理由等を「青」で記入する。また、友だちの考えを聞いて、自分の考えが変わったときは、黒ペンで書き加えてもよいこととする。

③フリートーク



教室を自由に歩きまわり、ほかのグループの人、自分が意見を聞いてみたい人のところに行く。ホワイトボードを見せながら、自分や自分のグループの考えを伝えたり、新たな意見を書き足したりしていく。



①～③の手順をふんでから、全体での話し合いを行ったり、個人で考えを再構成する時間をとったりして、対話を通して子どもの考えが広がったり深まったりするようにしている。



形だけの対話のようなもの、教師の都合のみになっていないか

- ・子供にとって本当に必要な活動か？
- ・グループで活動する目的はわかっているか？

関わり合って学ぶ良さを味わっているか

- ・自分の学びを深める（結論をつくる）ことになっているか？
- ・普段からつなげて考える学び合いになっているか？

対話的な学び、について確認したいこと



対話的な学び、で大切なこと

目的がわかる

子供たちがグループで話し合ったり、実社会の人に話を聞いたりする目的となる「**問い**」が**明確**になっていることが大切である。

必要感

子供たちに問いがあり、解決したいから話し合う、話を聞く
自分だけでは解決できない、
自分の考えだけでは解決できないから、話し合いたい、話を聞きたい

新宿区立四谷小学校

“主体的に学習に取り組む態度
・学び方カード”

どのように主体的に学習に取り組む態度を見取るのか、その一つのアイディアが「学び方カード」。しかし注目したいのは、方法ではなく、学習評価の全体像を描いた上で、方法を位置づけていること。

社会的事象との関わり

自己効力感

振り返り

粘り強く
取り組む態度

学習調整
(個人と集団)

見通し

動機付け

社会的事象との出会い

課題解決

課題追究

課題把握

問題解決的な学習過程

主体的に学習に取り組む態度

身に付けたい学び方		ふり返ろう・いかそう
○できた・もうちょっとできそう ◎もっとできるようになった△うまくできなかった		
つかむ	気付いたことや疑問・知りたいことを考えられた。	
	気付いたことや疑問・知りたいことを話し合っ、みんなと学習問題をつくった。	
	予想をもとに学習計画を立て、これから調べる見通しがもてた。	
調べる	学習計画とてらし合わせて、調べることをはっきりさせて調べた。 いくつかの資料を使うなどして、ねばり強く調べた。	
	資料からキーワードを見つけることができた。 人・出来事の関係、変化が分かるようにノートに書いた。	
	調べ方や調べたことを友だちと話し合い、確かめ合うことができた。	
まとめる・いかす	キーワードを確かめたり、図や表に表したりして分かったことを整理できた。	
	キーワードや「つまり」「例えば」などの言葉をうまく使ったり、いろいろな立場で考えたりして、学習問題に対する自分の考えが書けた。	
	次の学習や自分の生活に生かせそうなことを見つけた。 学習したことを生かしていきたいと思えた。	
【今回の自分の学習の進め方はどうだったかな。】単元を通して自分がとくにながらったこと・できるようになったこと・学んでよかったこと・役に立つと思ったこと 等		



身に付けたい学び方		ふり返ろう・いかそう		
○できた・もうちょっとできそう ◎もっとできるようになった△うまくできなかった				
つかむ	気付いたことや疑問・知りたいことを考えられた。	◎	現在の私達は便利で豊かな生活をしてきたので、初めの旧石器や縄文時代の暮らしや食べ物をヒトへた。	調べる活動にすすむ前に 自分の学習の進め方をふり返ろう。 これからの学習のすすめ方を考えてみよう。
	気付いたことや疑問・知りたいことを話し合っ、みんなで学習問題をつくった。	○		
	予想をもとに学習計画を立て、これから調べる見通しがもてた。	○		
調べる	学習計画とてらし合わせて、調べることをはっきりさせて調べた。	◎	インターネットには、いろいろな人の調べたところがあるため、歴史には「昔の資料で調べた。家で調べた後学校で調べた」というのが多かった。	まとめる活動にすすむ前に 自分の学習の進め方をふり返ろう。 もっと調べる必要があることはないか考えてみよう。
	いくつかの資料を使うなどして、ねばり強く調べた。	◎		
	資料からキーワードを見つけることができた。人・出来事の関係、変化が分かるようにノートに書いた。	◎		
	調べ方や調べたことを友達と話し合い、確かめ合うことができた。	○		
まとめる・いかす	キーワードを確かめたり、図や表に表したりして分かったことを整理できた。	◎	見つけたものを大切に保管し、調べた人が調べられるようにしておくのはとてもすばらしいと思った。また、もバに履きた。	まとめが終わったら自分のまとめ方をふり返ろう。 さらに考えていくべきことがないか考えてみよう。
	キーワードや「つまり」「例えば」などの言葉をうまく使ったり、いろいろな立場で考えたりして、学習問題に対する自分の考えが書けた。	○		
	次の学習や自分の生活に生かせそうなことを見つけた。学習したことを生かしていきたいと思えた。	◎		
【今回の自分の学習の進め方はどうだったかな。】単元を通して自分がとくにがんばったこと・できるようになったこと・学んでよかったこと・役に立つと思ったこと 等				
今自分なりに、その土地の遺跡を考えたのはとてもいいことだと思った。だから、これからは四谷での、うつりかわりや、いつから中心が東京になったのが、考えていきたい。				

これから専門家の人を「よ、よ、よ」



学習評価とは（学習評価の意義）

学習評価は、学校における教育活動に関し、子供たちの学習状況を評価するものである。

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）

平成28年12月21日 中央教育審議会」第1部第9章

「子供たちにどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、教員が指導の改善を図るとともに、子供たち自身が自らの学びを振り返って次の学びに向かうことができるようにするためには、この学習評価の在り方が極めて重要であり、教育課程や学習・指導方法の改善と一貫性を持った形で改善を進めることが求められる」

つまり、学習評価には、子どもの学習状況を的確に捉えて評価することにより、

「子どもたちの学習改善」につながるようにする側面と

「教師の指導改善」につながるようにする側面

という2つの意義がある



指導と評価の一体化

評価規準の作成，評価方法等の
工夫改善のための参考資料

【小学校 社会】

平成 23 年 11 月

「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料



小学校

社会

学習評価についての基本的な考え方

- ① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ② 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも，
必要性・妥当性が認められないものは
見直していくこと

時間	ねらい	○主な学習活動 ・内容	□資料	評価方法と【評価規準】
1	<p>たくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくることができるようにする。</p>	<p>○家や学校等から出るたくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や学校、市（区町村）から出るゴミの量 ・ごみの種類や出し方 ・学習問題の設定 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> □グラフ「ごみの量や種類」（家・学校） □グラフ「市のごみの量」 □表「ごみの分別表」 □写真「ごみステーション」「ごみ収集車」「清掃工場やリサイクルセンター」 	<p>発言内容やノートの記述内容から「処理の仕組みや再利用などに着目して、問いを見いだしているか」を評価する。 【思-①】</p>



ごみの処理にたずさわる人々は、たくさんのごみをどのようにして処理しているのでしょうか。

「問いを見いだす場面」では、発言内容やノートの記述内容から、「学校や家庭、市全体として出るごみの量や種類のグラフ」や「ごみの分別表」、「ごみステーションやごみ収集車、清掃工場やリサイクルセンターの写真」から処理の仕組みや再利用などに着目して、「どのようにごみを集めているのだろう」「集めたごみはどのように処理しているのだろう」「再利用は、どうしているのだろう」などと問いを見だし、考え、表現しているかを評価した。



単元の指導と評価の計画を作成する時に授業者が、ねらい、活動と関連させて、どの時間にどの観点でどのような方法で学習状況を見取るのか、を設定します。学習評価場面の精選の考え方のもと、基本的には、**1時間1観点**で設定するように、事例では示しています。

評価したことを指導に生かす 評価したことを記録に残す



学習評価は子供の学習状況を把握して指導に生かすことが基本

一方で・・・児童指導要録（「評定；3・2・1」）を定めるための評価資料を集める趣旨からABCを決めて記録する必要もあります。

学習評価には、評価したことを「指導に生かす」と「記録に残す」という二つの側面があります。

評価したことを指導に生かすことは、基本的に毎時間行う。その中で、特に指導した結果としての評価資料を全ての子供から収集してABCを定める場面を評価したことを「記録に残す」場面として指導と評価の計画には示しています。

「記録に残す」場面は、「指導と評価の一体化」の観点から、単元の目標に沿って指導した結果が現れる場面＝単元後半が多くなります。

7	評価したことを指導にいかす		ノートの記述内容から「現在に至るまでに衛生的に処理する仕組みが作られ、計画的に改善されてきたことについて考え表現しているか」を評価する。【思-①】
	の解決策を調べ、計画的な取組について考えることができるようにする。	様子を調査したり各種資料を活用したりして調べる。 ・市（区町村）が現在のごみ処理問題を解決している様子 ・市（区町村）がこれまでのごみ処理問題を解決してきた様子	
8	評価したことを指導にいかす		ノートの記述内容や発言内容などから「学習したことを基にごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現しているか」を評価する。【思-②】
	て話し合い、ごみを処理する仕組みや	果たす役割について考える。	
9	評価したことを指導にいかす		ノートの記述内容から「廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、それらは生活環境の維持と向上に役立っていることを理解しているか」を評価する。【知-②】
	て図や文にまとめることができるように	いて、ごみ処理の仕組みや経路、人々の協力関係など	
10	評価したことを指導にいかす		ノートの記述内容や発言内容から「学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現しているか」を評価する。【態-①】
	呼びかけをしていることについて考え、ごみを減らすために自分たちに協力できる	ることについて話し合い、ごみを減らすために自分たちにできることは何か考え、発表し合う。	
	評価したことを指導にいかす		ノートの記述内容から「単元の学習を振り返り、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしているか」を評価する。【態-②】
	う。	一に自分なりの考えをまとめる。	
評価したことを記録に残す		・リサイクル法 ・世界のごみ処理の様子 ・ごみを減らすために自分たちが協力できること	

【単元の目標】

廃棄物処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業の果たす役割を考え、表現することを通して、廃棄物処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域社会の一員として自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。



【単元の評価規準】

目標と評価規準をセットで描く⇒単元デザインはできる

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。
調べてわかる

①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見いだし、廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。

問いを見い出す

①廃棄物処理する事業について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

主体的な問題解決

②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。

まとめてわかる

②廃棄物処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付けて廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基に、ごみの減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。

考えたり、選択・判断したりする

②学習したことを基にごみの減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしている。

よりよい社会を考えようとする

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。 調べてわかる	①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見だし、廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。 問いを見いだす	①廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 主体的な問題解決
②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 まとめてわかる	②廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付けて廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基に、ごみの減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。 考えたり、選択・判断したりする	②学習したことを基にごみの減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしている。 よりよい社会を考えようとする



単元を通して、全観点の学習状況を見取る
それぞれの実現状況を把握できる段階で行う

ねらい	主な学習活動	学習評価
①学習問題をつくることができるようにする	○ごみのゆくえを話し合い、学習問題を作る	思-① 問いを見いだす
②学習計画を立てることができる	○解決に向けて予想する、学習計画を立てる	態-① 予想や学習計画
③④調べることができるようにする	○清掃工場の見学をして調べる	知-① 調べてわかる
⑤調べることができるようにする	○各種資料で調べる	知-① 調べてわかる
⑥まとめ、見直すことができるようにする	○まとめる。さらに調べることを見出す	態-① 見直したりして
⑦考えることができるようにする	○計画的な取り組みについて考える	思-① 考え表現する
⑧考え表現することができるようにする	○関連付け、役割を考え表現する	思-② 関連付けて考える
⑨図や文にまとめることができるようにする	○ごみ処理の仕組み等を図や文にまとめる	知-② まとめてわかる
⑩考え、協力できることを考えようとする	○自分のできることを考えまとめる	選択・判断 思-② 態-② 社会的な態度

○指導と評価の計画に、評価規準の設定する際は、**きまりがあるわけではない。**

○評価ありきで、**授業の画一化につながることは求めている。**

○授業者の**単元構想に基づいて**評価規準は設定されるもの。

○その時間のねらいの実現において、どのような資料でどのような活動をして、どのような観点で学習状況を見取るのか。

○**指導計画＝指導と評価の計画**

